

## 2010年4月1日～2023年4月1日の間に 当科において腹部大動脈瘤に対して瘤切除、人工血管置換術を受け、 大動脈瘤壁を病理学的評価をされた方及びご家族の方へ

「腹部大動脈瘤壁への尿酸結晶の沈着の病理学的な評価」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院心臓血管外科	特任副医長	柴田 憲明
研究分担者	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	柚木 靖弘
	川崎医科大学心臓血管外科学	准教授	田淵 篤
	川崎医科大学総合臨床医学	講師	渡部 芳子
	川崎医科大学心臓血管外科学	大学院生	田村 太志
	川崎医科大学心臓血管外科学	臨床助教	古澤 航平
	川崎医科大学心臓血管外科学	大学院生	山根 尚貴
	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	山澤 隆彦
	川崎医科大学心臓血管外科学	特任教授	金岡 祐司

### 1. 研究の概要

高尿酸血症とそれに続く関節または関節外領域への凝集した尿酸ナトリウム結晶(MSU)の沈着によって引き起こされる痛風はもっとも一般的な炎症性関節炎である。痛風と高尿酸血症は数十年にわたって増加してきており、痛風が高血圧、心血管疾患の進行、および死亡率の独立した危険因子であるという証拠が増えてきている。

近年、デュアルエネルギーCT(DECT)によって痛風患者の大動脈壁内のMSUが特定された。MSUが血管壁を破壊し、炎症カスケードを引き起こし、アテローム性動脈硬化カスケードが進行する可能性が示唆された。しかしながら動脈瘤の原因となるかの病理学的な検索はなされていないのが現状である。最近、剖検標本を偏光顕微鏡で評価し、DECTで観察された血管信号が実際にMSUからのものであることが確認された。

この研究は、過去に腹部大動脈瘤を切除された大動脈瘤壁のMSUの沈着の程度を評価し、動脈硬化との関連や動脈瘤に特異性の評価、また動脈瘤化のリスクとなり得るかを解明することを目的とする。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

当院で2010年4月1日から2023年4月1日の間に腹部大動脈瘤に対して瘤切除、人工血管置換術を施行され、大動脈瘤壁の病理学的評価をされた100名を研究対象とします。

## 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年12月31日

## 3) 研究方法

2010年4月1日から2023年4月1日の間に当院において腹部大動脈瘤を切除された大動脈瘤壁の病理学的評価を行った100人を対象とします。過去に提出した病理プレパラートにデガラント染色を加え、大動脈瘤壁のMSUの沈着の程度を評価し、動脈硬化との関連や動脈瘤に特異性の評価、また動脈瘤化のリスクとなり得るかを解明することを目的とし、加えて過去の採血や内服状況が把握できる患者を後方視的に研究します。研究者が診療情報をもとに治療成績に関する分析を行い、治療成績改善の方法について調べます。

## 4) 使用する試料・情報の種類

電子カルテを用いて、患者背景である年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、副作用等の発生状況や術前術後の画像データなどを使用致します。手術時に摘出した大動脈壁の病理プレパラートを染色を加えて観察します。

## 5) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した試料は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学病院病理部の施錠可能な保存箱で保存します。この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学心臓血管外科学実験室のパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を関連研究などで二次利用させていただく際には、倫理委員会にて承認を得ます。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年10月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 心臓血管外科

氏名：栗田 憲明

電話：086-462-1111 内線 44421（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-7897

### 3. 資金と利益相反

この研究において、川崎医科大学プロジェクト研究費を獲得しています。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適切に管理されています。